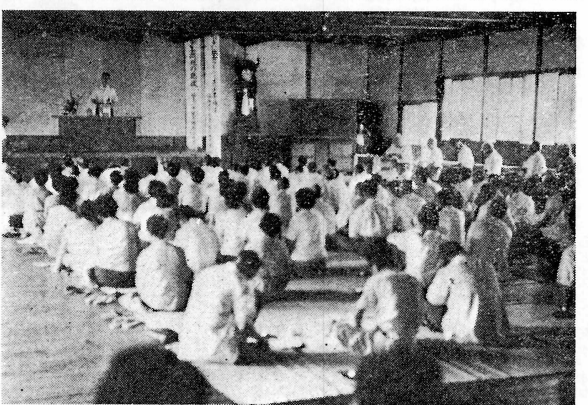


【第35号】  
昭和35年8月15日発行  
非売品  
発行所 国見町公民館  
発行人 佐藤善次郎  
編集人 鈴木美一  
印刷所 宇佐美印刷所

# 明るい社会づくりは まず補導員の勉強から

## 青少年補導員研究集会

明るい社会をつくるため、夏の子どもを守る運動を展開中であることは既報の通りであるが、わが国見町では、更にこの運動の効果をあげるため、去る本月八日、藤田小学校を会場として、関係者特に各部落に設けられてある青少年補導員、PTA役員、高校保護委員、民生(児童)委員等の研究集会を開催した。



の校外補導員や児童委員、保護委員等との関係がはつきりわからなため、こうしたことについて研究しようとしたのが今回ののりであった。向うは伊達保護司会、見部会、PTA連絡協議会、社会福祉協議会、民生(児童)委員協議会及び公民館の各職

集まる者百二十余名、午前十時開会式について、福島大学学芸部長平井博先生の「明るい社会づくりと青少年補導員」についての講演を聞き、午後には五グループに分れての分科会全体で話しあひ、最後に福島少年観劇所長土居愛治氏の「青少年問題の現状」についての講演を聞いた。午後四時開会となった。時あたかも連日の猛暑にもかかわらず、最後までほとんど中退するものがなかつたのは、主催者も感激している。

### 全員入賞の「七夕まつり」

#### 中曆に協力した商工会

公民館提唱の中曆お盆に全月六、七、八の三日間実施し、面的に賛成した町の商工会で、この商工会の大家所にて活動にむらがあり、又PTA

◎豊作にみんなそろってまず健康……運動会近づく

## 会議だより

七月臨時町議会  
七月十九日町議会  
臨時議会が次となり、会期は一日議案は次のとおり、理組合議員選挙について

事業者に委託契約することと日本学校安全会法の施行に伴って小中学校、保育所児童の安全を保障する為、昭和三十五年度町職入歳出予算の追加を急を要したもので専決したもので、原案と可決



八月七日中曆七夕の飾りつけにもまざるうわし集いが藤田小学校に催された。それは現在の校長松山先生、前任校長松山先生、並に元職員佐藤七郎(現大木戸校長)阿部三子(現出雲所の諸氏の提唱で、かつて同校に在職したことのある先生方と現在の職員方の交歓会として、PTA会長並に教育長、隣接校長を加え、総勢九十余人、中には今から六十余年前に在職したという円谷頑次郎先生が九十一歳という老体をこらして四倉町から参加されたのを始め、松浦電吉、阿部喜平など大元老も若い先生方にまざって大いに懐旧談に花をさせた。なにしてる学校創立直後からの先生の集まりなのでこれらの先生方の精進努力の積み重ねが今日の藤田国見町の発展の基となっていることを思うとき、まことに有意義な会であつたと感じられる。次に出席者のお名姓を列記する(カゴ内は旧姓)を以てお現任所を知りたい方は小学校にお問合せ下さい。

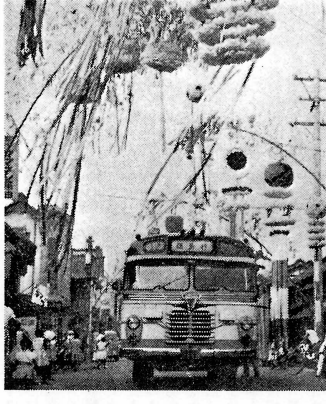
## 新恩師一堂に会す

部喜平、成田滝美、上田原、原田ヒサ(上田)、白鳥トミ子、安藤誠造、佐藤つや、渡辺ハツミ、阿部三子、鈴木九二(八)辰谷、中島ヨシ子(諸原)、熊谷郁(大沼)、氏家久仁夫、佐藤吉男、安部喜一、清水三三、古川アイ、島貫、佐久間利秋、安斎武、吉川松太郎、須田哲夫、佐藤栄、三國武雄、古内三三、谷津洋一、菅野時子(宇佐美)、高信一、高信二、半沢茂里美、永瀬カノ(倉田)、菅野正美、水野雄子(香川)、鈴木美子(新井)、熊坂修一、阿部三子、小坂金夫、大泉昭治、高橋伊蔵、蓋田吉次郎、村上直治(高橋)、井口三郎、遊佐ヨシ、森田鶴治(信田)、栗城四郎、後藤信平、宇佐美周子(横田)字佐美登夫、藤原エツ(石田)、佐久間智子、山田亮、牧野武夫、早田、佐藤ヒロ子、阿部作太郎、佐藤三三、藤原千代、佐々木治郎、三品千代、佐藤保(現職員並に来賓は省く)【写真】は交歓風景

八月七日中曆七夕の飾りつけにもまざるうわし集いが藤田小学校に催された。それは現在の校長松山先生、前任校長松山先生、並に元職員佐藤七郎(現大木戸校長)阿部三子(現出雲所の諸氏の提唱で、かつて同校に在職したことのある先生方と現在の職員方の交歓会として、PTA会長並に教育長、隣接校長を加え、総勢九十余人、中には今から六十余年前に在職したという円谷頑次郎先生が九十一歳という老体をこらして四倉町から参加されたのを始め、松浦電吉、阿部喜平など大元老も若い先生方にまざって大いに懐旧談に花をさせた。なにしてる学校創立直後からの先生の集まりなのでこれらの先生方の精進努力の積み重ねが今日の藤田国見町の発展の基となっていることを思うとき、まことに有意義な会であつたと感じられる。次に出席者のお名姓を列記する(カゴ内は旧姓)を以てお現任所を知りたい方は小学校にお問合せ下さい。

◎町長賞 鈴木ミシン店  
◎一等賞 国見ラジオ  
◎二等賞 伊達中央倉庫 ほかりや

◎特賞(国見町賞) 市川武雄(森山) 古内忠一(内谷) ◎優等賞(県園芸協会賞) 渡辺初太郎(光明寺) ◎一等賞 谷口仙一(森山) ◎二等賞 藤田政雄(内谷) 黒田武次(泉田) 赤坂弘(内谷) 林元治(鳥取) 佐藤角治(石田) 佐藤光助(森山) 佐藤幸作(高橋) 鈴木佐治(川内) 滝川長左(門) 藤田(三三) ◎優等賞(県園芸協会賞) 斎藤明治(員田) ◎全(普及所長賞) 松浦一(森山) ◎一等賞(組合長賞) 武田孟(森山) 斎藤忠夫(員田) 斎藤忠吉(徳江) ◎二等賞 多勢恒夫(森山) 佐藤昌介(森山) 黒田武夫(泉田) 遠藤リ(光明寺) 渋谷貞一(全)



【写真】平井先生の講演を聴く様子

◎努力賞 石田や 大内雑貨店、佐久間パンヤ、コーゼイ堂時計店  
【写真】目坂通りの竿飾り

◎努力賞 石田や 大内雑貨店、佐久間パンヤ、コーゼイ堂時計店  
【写真】目坂通りの竿飾り

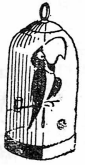
## 果物展示会(二)

その一 石母田展示会  
石母田果樹研究会(会長 佐藤美氏)では八月七日公民館で実施、桃(大久保)りんご(祝)計五三品の出品あり、入賞者次の通り

◎特賞(国見町賞) 市川武雄(森山) 古内忠一(内谷) ◎優等賞(県園芸協会賞) 渡辺初太郎(光明寺) ◎一等賞 谷口仙一(森山) ◎二等賞 藤田政雄(内谷) 黒田武次(泉田) 赤坂弘(内谷) 林元治(鳥取) 佐藤角治(石田) 佐藤光助(森山) 佐藤幸作(高橋) 鈴木佐治(川内) 滝川長左(門) 藤田(三三) ◎優等賞(県園芸協会賞) 斎藤明治(員田) ◎全(普及所長賞) 松浦一(森山) ◎一等賞(組合長賞) 武田孟(森山) 斎藤忠夫(員田) 斎藤忠吉(徳江) ◎二等賞 多勢恒夫(森山) 佐藤昌介(森山) 黒田武夫(泉田) 遠藤リ(光明寺) 渋谷貞一(全)

夜の外出はとかく事故のもと……なるべく早く帰りましょう

夏休特集



自然ちで川原の石を積んだかまどでごはんをたいたりお汁をたいたり、ほんとうはおままし、風流であり、先生方も一人づつ各班に入つて、食事の共進したことは、お互いの親しみを深め、あたたかいふんいきを作るのに非常に役立ったといふ。

K君の日記
(二十三日) 土 晴
わたしたちの喜びと楽しさをのせたバスが滝野分校前に着いたのは十時半頃だった。



森江野小 摺上川畔(茂庭)で林間学校

森江野小学校では七月二十三日から三日間、茂庭小学校滝野分校で林間学校を開校した。

参加者は六年生全員、先生方も日宿直を除き全員で指導に当られた。幸い連日の好天にめぐまれ、成功裡に終了することができたが、これまでもつて来るため先生方は、七月はじめから現地調査や交渉にとりかかり、輸送計画や班編成、事前指導と長期にわたる詳細な計画のもとに、いろいろの準備をすませて来たという。こうした教育的配慮が十分になされてこそ、その効果は増大するものである。

効果的だった リーダー養成講習

藤田小グループ活動に大きな役割
藤田小学校では、例によつて夏休みに入る前に、PTAの役員会を開き、休中における子ども会の育成に当つたことである。そのために子ども会を組織する一方、徹底したリーダー養成講習を、各グループのリーダーに実施した。

藤田小学校では、例によつて夏休みに入る前に、PTAの役員会を開き、休中における子ども会の育成に当つたことである。そのために子ども会を組織する一方、徹底したリーダー養成講習を、各グループのリーダーに実施した。



大木戸小 (キャンプ村訪問記) 湖畔にもえあがるキャンプファイヤー

七月二十三日、夕もやせまる半田山へ、自転車を押して登る、途中自転車を捨て、つづら折りの急坂を過ぎて新沼のほとりに出る。静かにねむらうとする湖畔の松林の彼方、此方に、二つ三つ、五つ七つ、白いものがタツツキと浮んで見える。小さなざわめきが耳に入る。キャンプ村は、今や夕の光の時刻である。それぞれのテントの前でグループを作り、自分たちで作った世界一うまきもちを口づつみ楽しむ。食の一時である。先生方のテントに近付く。



あわただしい炊事指導を終えてはつとひといき、これから食事にとりかかろうとする先生方に、先生、僕たちの班で作つたものを食べて下さい。先生、私の班で作つたものを食べて下さい。先生、私の班で作つたものを食べて下さい。

小坂小 全員参加で楽しい旅を……

大型バス二台に分乗した百三十名の一行は、早朝六時学校を出発、風光明媚の阿武隈ラインを下り、丸森を通つて松川に到着。灯台を見学、中州での夕涼み、風巻で海水浴と時間のたつたの忘れてたのめし、一日でした。晴天のため、いささかの晴れも、山の子どもにとつて何ものにもまさる有意義な一日であった。父兄の一人又、たつた一日ではもたらない、来年は宿舎にとまつてゆつくり遊びたいという子どもが多かたうです。学校でもPTAとも相談して、その企画の面もつと工夫し、ほんとうに楽しい、愉快な海の学校、山の学校にしたいと思つて行なつていきたいと思います。(R、生父兄)

